

2021年9月30日

「ヤクルトCSRレポート2021」および 「ヤクルトCSRコミュニケーションブック2021」を公開

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、ヤクルトグループにおける2020年度のCSR活動の実績や課題をまとめた年次報告書「ヤクルトCSRレポート2021」を当社ホームページ上で公開しましたのでお知らせします。また、ヤクルトグループのCSR活動を、一般生活者向けに読みやすく編集した「ヤクルトCSRコミュニケーションブック2021」を10月下旬に公開します。

私たちは、コーポレートスローガンである「人も地球も健康に」のもとに、地球と社会の持続可能性に貢献する事業活動を推進しています。そして、ヤクルトグループの取り組みについて適切に情報発信し、ステークホルダーの皆さまにヤクルトグループの活動を理解していただくことが重要であると考えています。

そこで、「ヤクルトCSRレポート2021」では、投資家をはじめ、ヤクルトグループに関心をお持ちの皆さまに情報を提供するツールとして、ヤクルトグループのCSR活動をESG毎に分類して体系的に整理し、国内外のデータ等も盛り込みながら開示情報の充実を図りました。

また、「ヤクルトCSRコミュニケーションブック2021」では、一般生活者の方に広く読んでいただけるよう、イラストや写真を多く用いて事例をわかりやすく紹介しています。

それぞれの概要は下記のとおりです。

記

＜ヤクルトCSRレポート2021＞

1. 公開日

2021年9月30日

2. 掲載内容

(1) トップコミットメント

持続可能な社会の実現に向けた当社社長の意気込みを掲載しています。

(2) マテリアリティ（重要課題）の紹介

特定したマテリアリティを示しながら「人と地球の共生社会」の実現に向けた取り組みを紹介しています。

有識者からは、今後の活動をさらに促進するための貴重な意見をいただきました。



(3) E：環境、S：社会、G：ガバナンス毎に取り組みを整理して活動を報告

CSR行動計画に基づいた活動を、近年さまざまな場面で使用される「ESG」の切り口で分類し、見やすさや理解しやすさに重点を置きました。マテリアリティとも対応させて報告しています。

(4) その他

① 国際的な枠組みに沿った事業活動

国連グローバル・コンパクトへの署名や、ヤクルトグループとしての各種方針を紹介しています。また、当レポートは、サステナビリティレポートの国際的なガイドラインである「GRIスタンダード」に沿って作成し、適切な情報開示に取り組んでいます。

② ESGデータ集

国内外のESGに関連したデータを掲載し、取り組みの現状を開示しています。

<ヤクルトCSRコミュニケーションブック2021>

1. 公開予定

2021年10月下旬

2. 掲載内容

(1) ヤクルトの社会インパクト

マテリアリティ毎に、社会に与えるインパクトを数値で示しています。

(2) ヤクルトの事業活動とSDGs

ヤクルトの事業がSDGsの目標達成とどのように関わっているか、具体的な事例をあげて説明しています。

(3) CSRストーリー

マテリアリティの一部である「イノベーション」「地域社会との共生」「サプライチェーンマネジメント」に関する取り組みを、社員の対談やステークホルダーの声を盛り込みながら紹介します。

※ どちらも当社ホームページ (<https://www.yakult.co.jp>) から閲覧できます。

以上